

神田外語大学

日本研究所主催 講演会

世界の中の日本 第6回

2018年

12月14日(金)

14:50～16:20 (4限)

神田外語大学 7号館2F
クリスタルホール
(千葉県美浜区若葉 1-4-1)

[事前申込不要]

[参加費無料]

— 神聖ローマ帝国諸侯の事例 —

ドイツにおける伊万里焼の 収集と磁器陳列室の流行

講演者：櫻庭 美咲 先生

(神田外語大学 日本研究所 専任講師)

西洋では、16世紀より複数の宮廷で珍しい異国の品々を愛好する異国趣味が流行し、日本からも漆器、磁器(伊万里焼)、ヤボンセ・ロックンと呼ばれた着物や屏風などの日本製品が輸出されました。特に優れた伊万里焼は王侯貴族の手に渡り、夥しい数の磁器を宮殿の内壁に陳列する磁器陳列室が考案されます。やがて磁器陳列は西洋の広い地域で流行し、さらなる大規模な磁器収集の契機となりました。

なかでも質の高い伊万里焼を収集し、見事な磁器陳列室を設けたのは、ブランデンブルク=プロイセン、ザクセン、バイエルンなど、当時神聖ローマ帝国と呼ばれた地域(現ドイツ)を支配した選帝侯という身分の王侯たちでした。神聖ローマ帝国諸侯の例を中心に、陳列、鑑賞、所有の政治性へと至った、ドイツにおける伊万里焼受容について紹介していきます。

【お問合せ】神田外語大学 日本研究所

Tel : 043-273-1389

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/labo/rijs/>



©Porzellansammlung, Staatliche Kunstsammlungen Dresden (Foto: Adrian Sauer)



©Porzellansammlung, Staatliche Kunstsammlungen Dresden (Foto: Adrian Sauer)

上：色絵美人像 18世紀前期 有田窯 下：色絵花鳥文蓋付六角壺 17世紀後期 有田窯・南川原山
ザクセン選帝侯アウグスト二世田藏品 ドレスデン国立美術館磁器コレクション館所蔵